

まちなかに藤袴を増やしたい

藤袴アベニューてらまち

中京マチビトCafé
～取組のその後～

藤袴の育成を通してコミュニケーション
を育み、人と人の繋がりを深める

馬場 備子 さん
御所藤袴の会

取組に協力した中京マチビト Café 参加者
坂田幸雅さん（御所藤袴の会役員）



秋の七草の一つに数えられながらあまりその姿を見ることがない藤袴。平安時代は盛んに花を愛でられ、香り草として匂い袋に珍重されていました。馬場さんは時代を超えて同じ姿、香りを現代に甦らせたいとの思いで、藤袴を植える活動を始められました。

中京マチビト Café で得たアイデアや出会いをふまえ平成27年6月に御所藤袴の会を結成しました。同年10月には2日間京都・寺町通り（二条～丸太町通り間）を展示会場として、300個の藤袴鉢を並べました。開会式は中京・上京区長はじめ、ゆるキャラも登場し、立派な鉢を貸与いただいた先行の藤袴の会のメンバーや地元住民によって盛大に行われました。春日学区地域を中心に、たくさんの方に育てられた藤袴は、寺町通りを美しい紫色に染めました。

今後は500鉢を目指して藤袴を育成し、展示会場は寺町通りを丸太町から市役所西側の御池通りまで延伸したいと考えています。



開会式



中京マチビト Café での様子

つながりをいかして

育成協力

中京・花とみどりの会、中京区役所、上京区役所
藤袴の育成にご協力いただきました。

取り組んでみてのご感想

イベントは2日間で延べ2,000人近くの人達が鑑賞し、反響は予想以上のものでした。特に家々に囲まれた通りの空間では香りが逃げず鑑賞する人々に芳香を届け、この花の香りと密に吸い寄せられた絶滅危惧種のアサギマダラや種々の蝶や虫が飛来し、まるで都会の中に山野の自然が出現したようでした。



〈ホームページ〉 <http://Gosyofujibakama.wix.com/gosyofuji>